

さんきちさま

平成三十年 水無月
第 4 号
発 行 所
白根三吉神社
福島県伊達市梁川町白根字中倉82
電 話 (024) 577 - 1738
F A X (024) 577 - 2134



『夏詣（なつもうで）のススメ』

宮司 古 積 義 永



崇敬者の皆様方には平素より当社の護持運営にご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、間もなく平成三十年も半年が過ぎようとしています。

六月三十日には「夏越の大祓式」を執り行い、崇敬者の方々が半年の間、知らず知らずのうちに犯した罪、心身の穢れなど一切の災厄を祓い清め、これからの半年を清々しく過ごしていけますようお祓い致します。

また、本年より大祓式の後の七月一日～七日まで（本年は八日まで）を、新しい日本の風習『夏詣』として、崇敬者の皆様にお参りいただけるように致しました。

お陰様で神社参道や境内の整備も、少しずつ進んでおりますので、どうぞこの夏詣期間中にお参り下さい。

水無月の 夏越の祓するひとは

千歳の命 延ぶといふなり

（拾遺集）

（口語訳…六月の夏越の祓えをする人は、寿命が延びて千年の命を得るということだ）

皆様とともに、神様のお力をいただいて、残り僅かな平成の御代を平穏無事に健やかに過ごして参りたいと思います。

例祭斎行のご報告

白根三吉神社では、旧暦の三月三日に例祭を執り行っています。

敬神婦人会のご協力をいただきながら、来賓をお招きいたしまして、厳粛な中にも和気あいあいとした雰囲気の、上巳の節句（ひなまつり）に相応しいお祭りです。



例祭にあたり

権補宜 古積 可奈子

白根三吉神社の例祭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

神社を護る家の跡取りとして生まれた自分の一生を考えました時に、先ず、日本の伝統文化や国柄を深く理解し、世界中の人々に伝えられる神職になりたいと思いました。自分が勉強したい外国語というものを媒体に、日本の伝統文化が世界に誇れるものであるということを伝える手段を、大学で四年間学びました。そして現在は、次のステップとして、本来自分が身に付けなくてはならないことを、徹底的に学んでいるところです。

この白根三吉神社の五代目の宮司となる父は、なんとか神社を建て直したいと本当に頑張ってきた。わたしが生まれて二十年目によくやく新しい社殿が建ち、いよいよこれから、わたしの出番だと、責任の重さを感じています。父の偉大さに負けないように、高等神職の資格を身につけ、崇敬者

や地域の方々の心の拠り所となるような神社、更には日本はもとより世界中の方々にもお参りいただけるような神社にするために精進して参ります。

今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。



敬神婦人会 活動報告

白根三吉神社例祭では、会員一人一人が手作りの品を持ち寄り、神饌として神様にお供えした後に、直会で御下がりを戴きました。

温かな雰囲気、素晴らしい直会になりましたこと、心より感謝申し上げます。





崇敬青年会 活動報告

平成三十年三月二十五日～二十七日、長崎県壱岐島を中心とした神社参拝研修旅行に行つて参りました。一日目は山口県鎮座、住吉神社、赤間神宮、亀山八幡宮を巡った後、福岡県に入り、宗像大社、宮地嶽神社を参拝致しました。二日目には長崎県壱岐島に渡り、住吉神社、月讀神社、國片主神社、聖母宮、天手長男神社を巡り、島の産物に舌鼓を



赤間神宮



宗像大社



太宰府天満宮



第69回全国植樹祭

打ち、自然豊かな日本を満喫。三日目は福岡県鎮座、香椎宮、筥崎宮、櫛田神社、太宰府天満宮を参拝し、大変有意義な研修旅行となりました。

また、六月十日には、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、「第六十九回全国植樹祭」に参加することができ、大変ありがたい経験に会員一同胸が熱くなりました。



夏詣のご案内



新しい日本の風習「夏詣」が、江戸下町から日本全国津々浦々に広がっています。古より守り受け継がれてきた各地域の生活様式や習慣を我が国の文化の源と尊び、我々日本人にとって夏の新たな風習として根付いていくように、白根三吉神社におきまして、参画の運びとなりました。

七月一日から七日の七夕までを夏詣期間と致しまして、少しずつ賑やかな催し物を増やして参りたいと考えております。



なつもうでセット

夏詣期間中、お参りの方々には、三吉ブレンドコーヒーにお饅頭がついた「なつもうでセット」の振る舞いがございます。

皆様お誘いあわせの上、本年は先ずお参り頂いて、お茶を飲みながら、緑豊かな境内からの景色と、新しい参道を眺め、国旗掲揚塔より大空にたなびく日の丸を仰ぎ、茅の輪くぐりで半年の間に知らず知らずのうちに犯した罪や心身の穢れを祓い清めて頂ければと思います。



夏越の大祓式のお知らせ



六月三十日は、半年の罪穢れを祓い、清浄な本来の姿を取り戻す為の神事である「大祓式」が執り行われます。

白根三吉神社では、今年初めて崇敬青年会の協力により境内に「茅の輪」を設置致します。

六月三十日の午後から七月八日までの期間中、どなたでも茅の輪くぐりをしてお参りいただけます。



「写真協力：東京都 七社神社」

夏詣期間中には、人形（ひとがた）にお名前を書いて納めて頂きますと、七夕の夜に、これから半年間の無事を祈願してお祓い致します。



また、「茅の輪御守」の頒布もございます。
(初穂料お一人千円)

神社崇敬費をお納め頂いている方々には、毎年「茅の輪御守」をお送りしております。
(初穂料一体三千円)

（崇敬費 三千円）



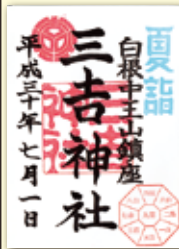
*** 夏詣限定御朱印頒布 ***

【頒布期間】

六月三十日より

七月八日まで

初穂料：三百円



白根三吉神社
参道

